

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 534 号	氏名	中嶋秀樹
学位審査委員	主査	工藤 崇	
	副査	大園 恵幸	
	副査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、現在知見が十分でないパーキンソン病 (PD) における非運動症状、特に表情認知機能低下の特徴の同定と、表情認知機能と脳血流分布の関連を捉えたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 表情認知機能の測定には画像処理技術を用いたモーフィング法を利用することで客観性を持たせており、画像診断にも脳血流シンチグラフィに最新の統計画像解析法を応用した技術を採用し定量的評価を可能にしており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PD 患者における表情認知機能が特に「怒り」「喜び」の表情において低下していることが明らかとなった。また、PD 患者における脳血流は後頭葉で低下が認められ、特に表情認知機能と右後頭葉の血流の間に相関関係が認められた。PD における非運動症状と局所脳機能の関連を明らかにした物であり、今後の神経内科学研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は神経内科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			